

带状疱疹ワクチンの説明書

商品名: 乾燥弱毒生水痘ワクチン

■ 带状疱疹について

水痘・带状疱疹ウイルスによる感染症です。小児期の初感染では水痘を起こし、通常は自然によくなります。しかしながら、ウイルスは神経節に潜んでおり、加齢などで免疫力が低下した際に、再び活性化し神経に沿った帯状の疱疹を起こします。50歳以上で頻度が高くなります。後遺症として带状疱疹後痛があります。水疱には多量のウイルスが含まれており、接触や空気感染でヒトからヒトに伝染します。

■ 診断と治療

- ・症状(ヒリヒリ感や痛み)と皮疹(発赤、水疱、かさぶた)で、専ら臨床的に診断します。
- ・抗ウイルス薬の内服、点滴、塗布が治療です。

■ 予防方法

- ・50歳以上でワクチンを1回接種する。
- ・带状疱疹患者のケアをする場合は、手袋を使用する。
- ・小児期に水痘ワクチンを2回接種する。2014年10月から2回の定期接種となっています。

■ ワクチン接種対象者

米国予防接種諮問委員会(ACIP)の推奨を示します。

- ① 60歳以上のすべての成人。過去に带状疱疹を発症したかは問わない。
 - ② 腎不全、糖尿病、慢性肺疾患など基礎疾患があっても接種可能。
 - ③ 水痘の罹患歴や血清抗体価を調べる必要はない。
 - ④ 急性期の带状疱疹患者には接種してはいけない。
 - ⑤ 重度の免疫不全患者には接種してはいけない。
 - ⑥ 60歳未満ではエビデンスがなく、接種は推奨されない。
- * 本邦では50歳以上が適応となります。

■ ワクチンについて

- ・带状疱疹ワクチンは国内ワクチンです。
- ・带状疱疹や带状疱疹後痛の発症を抑えることが期待できます。
- ・米国で使用され実績のある带状疱疹ワクチン(ZOSTAVAX)はOka株で力価は、18700~60000pfuです。一方、国内ワクチンもOka株で力価は42000~67000pfuであり、ZOSTAVAXと同等の効果が期待されます。

乾燥弱毒生水痘ワクチン(国内ワクチン)	
【製造会社】	阪大微生物研究所
【適応年齢】	50歳以上。
【接種回数】	1回。
【接種方法】	皮下注射。
【持続期間】	50歳以上で1回接種。

■ 副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■ 注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、妊娠・授乳中、発熱している方は接種できません。

■ 健康被害が生じた場

PMDAによる公的救済制度の適応です。発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。